



1月

園だより

令和8年 1月5日
目黒区立大岡山保育園園長

あけましておめでとうございます

年末年始はご家族で豊かな時間を過ごせたことだと思います。本年も子どもたちが笑顔で、意欲的に過ごせる園生活となるよう、職員一同尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

先月の成長お祝い会ではたくさんの保護者の方にご参加いただきありがとうございました。3, 4, 5歳児クラスの子どもたちが日頃から親しんでいるお話で劇を発表しました。どのクラスもたくさんの保護者の方に見守られながら、一人ひとりの子どもが自分らしく演じていたように思います。5歳児クラスでは感染症が流行り、当日に向けてお休みの子が増えました。残った子どもたちは友達の分も頑張ろうと結束をさらに強くしていました。当日は友達の分のセリフや小道具もこなし、25人全員で演じているように見えるほど心のこもったピーターパンの劇となりました。そして一週間後の再演会ではようやくみんなで演じることができ、友達がいる安心感や、やり切ったという達成感が見られました。この一連の活動を通し、どんなイレギュラーなことが起こっても気持ちを切り替えてあきらめずにやり遂げる自立心、相手を大切にしようとする思いやり、互いを尊重し目的に向かって協力する協同性が育っていると感じ、胸を打たれました。

後日、他のクラスの子どもたちにも劇を見せてくれました。小さな子たちがピーターパンにあこがれ、早速ごっこ遊びを楽しんでいました。年上の子どもたちの遊びが年下の子どもたちに継承されていきます。表現活動に限らず様々な遊びの継承を見通し、異年齢の保育を大切にしていきたいと思います。

1, 2月は各クラス懇談会を予定しております。一年間の成長を喜び合う会といたしましたく、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

今月の予定

- 新年を祝う会 3～5歳児
- 5歳児クラス懇談会
- 乳児お楽しみ会 0～2歳児
- 0歳児クラス懇談会
- 3歳児クラス懇談会
- 中旬 身体計測 避難訓練

2月の予定

- 節分
- 4歳児クラス懇談会
- 2歳児クラス懇談会
- 1歳児クラス懇談会
- 中旬 身体計測 避難訓練



看護師による

健 康 教 育

5歳児クラスで生活リズムについて話をしました。就学に向けてお昼寝がなくなり、どう感じているかを子どもたちに聞くと「眠い」「疲れる」という声が聞かれました。4月からの楽しい学校生活で元気に過ごせるよう5人のスーパーマンを使って生活リズムの大切さを伝えました。



- 朝は7時までに起きましょう。(おはようマン)
- 夜は9時には布団に入りましょう。(すやすやマン)
十分な睡眠は「日中の疲れをとる」「体の成長を促す」「病気から体を守る」ことにつながります。
- 朝食を食べましょう。(もぐもぐマン)
朝ご飯を食べることで体が目覚め、その日のリズムが始まります。よく噛んで食べましょう。
- 朝は登園前にトイレに行きましょう。(すっきりマン)
ご飯を食べると腸の動きが活発になり、便が出やすくなります。ゆっくりトイレタイムがとれるようにしましょう。
- 外で元気に遊びましょう。(がんばりマン)
外遊びは、体力だけでなく健全な心、子どもたちの「生きる力」につながります。





今夢中になっている遊び



1歳児クラス（もも組）

何にでもなれる魔法のおもちゃがあります。それは「かまぼこ板」です。ある日、1人の子が「もしもし～」とかまぼこ板を耳に当てて電話ごっこを楽しんでいました。それを見て他の子も次々と「あいあい」「はい、わかりました」と電話をし始めます。切るときには「じゃねー、バイバイ、ピッ」がセットです。別の日には、「カシャカシャ」と言ってかまぼこ板に目を近づけています。今度はカメラです。ある子は自分が撮ったときも、撮られたときも「カシャ」と言つたらその後に必ず「かわいい」と言っています。お家でたくさん「かわいい」と言われていることが伝わってきます。大人の真似っこができることがとても楽しい時期です。誰でも持っているスマートフォンの真似っこができるかまぼこ板は子どもたちにとって魅力的なようです。他にもお医者さんごっこでは体温計になったり、並べておせんべいになったり、子どもの想像力には毎回驚かされます。



4歳児クラス（れもん組）



子どもたちはトランプが大好きで、今クラスの中で大盛り上がりしている遊びの一つです。友達がやっているのを見つけると「一緒にやりたい」「いれて」と次々に集まり楽しんでいます。ある日、数名の子どもたちが集まってスピードをしていました。Aさんはルールを理解しているので手際よくカードを出しますが、Bさんはルールが曖昧なので自分の出したいカードを自由に出しています。それに気づいたAさんが怒り始めたので保育士が話を聞きに行こうと傍で見ていたCさんが「(今出ているのが) 3だから2と4が出せるよ」とルールを教えてくれました。するとBさんもルールを意識し「じゃあどれなら出せるの?」とCさんを頼りながらスピードを続けていきました。

今まででは保育士がルールを教えながら一緒に遊んできましたが、子どもたち同士で助け合いながら遊ぶ姿に変わっています。これからも友達と遊び楽しさを存分に味わえるようにやり取りを見守っていきます。

